令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	機械工作	単位数	1	学年	1	科	機械科

１、科目の目標

観点	(1) 知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等	(3)学びに向かう力，人間性等
科目の目標	機械工作に関する基礎的な知識と技術を理解する。	機械のしくみや機械をつくる技術を自然法則と関連付けて考察し，科学的，工学的思考力を養う。	機械工作を機械材料，計測，生産管理を含めて総合技術として学び，実際に活用できる能力と態度を身に付ける。

２、使用教科書・副教材

「機械工作１」「機械工作２」実教出版，自作演習プリント

３、学習の計画

	学習の内容		考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	計算技術検定 ＜工業計測と測定用機器＞ ＜計測の基礎＞	期末考査	10
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	＜測定器＞ ＜長さの測定＞ ＜切削加工＞ ＜切削工具の分類＞ ＜切削加工＞ ＜おもな工作機械と切削工具＞	期末考査	14
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	＜切削理論＞ ＜生産計画と管理＞ ＜生産を支える管理システム＞ ＜品質管理と検査＞	学年末考査	11

４、評価の方法

観点	(1) 知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等	(3)学びに向かう力，人間性等
評価の趣旨	機械工作に関する学習を通して基礎的な知識と技術を理解し，工業の発展と調和のとれたありかたや現代社会における工業の意義や役割を理解している。また，その成果として，ものづくりでのいろいろな場面で問題解決を試みることができるように相互に関連させて理解している。	機械工作に関する諸問題の解決をめざして自ら思考を深め，基礎的基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。また，その成果を適切に表現することができる。	身近な製品に関心を払うなどして，機械工作に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち，その習得に向けて意欲的に取り組むとともに実際に活用しようとする
評価区分	A：「充分満足できる」状況　B：「おおむね満足できる」状況　C：「努力を要する」状況		

５、学習にあたっての注意とアドバイス

知識の習得に加え、可能な限り演習を行う